

そんなり通信 vol.65



地域活動支援センターMネット 広報誌 H27年2月号

発行者：社会福祉法人Mネット東遠 地域活動支援センターMネット

場所：菊川市赤土 1660-1 TEL 0537-73-1020 FAX 0537-73-1034

1月サロン活動

1月9日（金）【初詣：法多山】

毎年恒例の初詣に出掛けてきました。昨年健康に過ごせたことへの感謝と今年の抱負を伝え、名物の回除けだんごをお土産に買って帰りました。



1月26日（月）【お雑煮作り】

Mネット特製のお雑煮には白菜、大根、水菜はもちろん最後にかまぼこを添え、色鮮やかなお雑煮になりました。

2月サロン予定

2月のサロンは以下の内容で行ないます。参加をご希望の方は、1週間前までに地域活動支援センターMネット(Tel0537-73-1020)にお申し込み下さい。外出レクへの参加者は配車の都合上 15名までとさせていただきますので、希望者多数の際にはご希望に添えない場合がございます。

日にち：2月6日（金） ※サロンの日にちが変更になりました。

内容：工場見学（たこまん）、昼食（丸亀製麺【うどん屋】）

時間：9：30 赤土出発、10：00 けやき出発、

10：30 工場見学、11：30 頃丸亀製麺にて昼食、12：30 帰着予定。

場所：たこまん（小笠本社）、丸亀製麺（菊川店）

持ち物：昼食代、飲み物 ※たこまんでは店内で買い物をする時間を設けています

日にち：2月23日（月）

内容：お茶会（次年度の計画決め） ※お茶菓子を用意します。

時間：9：30 けやき出発、10：00 開始、12：00 頃終了予定。

場所：地域活動支援センターMネット（赤土 1660-1）

持ち物：昼食、昼食代（Mネットにて食事をされる方）

コラム

平成27年のお正月もあつという間に過ぎてしまい、いつも通りの生活が戻ってきました。昨年のコラムでは、随分と昔の精神科病院の中での日常を紹介するコラムを掲載しました。要するに、精神科病院の中には独特の文化が存在し、それが病院の規則や日課として病院内でのみ通用していた活動のいくつかを紹介しました。

精神科病院という閉鎖された社会では、一般社会との接触は少なく、おまけに“みる人（職員）”と“みられる人（患者）”という二者関係の社会構造となっていたため、“強者”と“弱者”という上下関係が形成されることとなってしまうがちです。

新人の職員が精神科病院に入って仕事を始めると、知らないあいだに上下関係の“上”のポジションに納まってしまうことがあります。よく考えてみると、こういった関係は何も精神科病院だけに当てはまるものではないことが分かります。例えば、老人ホームや障害者施設、学校などが同じ特性をもっています。つまり“みる人”と“みられる人”の二者関係の性格をもった機関のことで、それを“統括施設”と呼んでいます。

障害者や高齢者等の支援をする機関で働く職員は、常に、こういった人間関係の中で業務をおこなっていることを自覚しなければならないのです。

例えば、こんな話があります。ある精神科の医師が入院中の女性患者さんに、「今日中に仕上げるように」と、筆記式の心理テストを渡したところ、彼女から帰ってきた言葉は、「どうしても今日中じゃないといけませんか。明日に延ばせることは延ばしてもいいんじゃないんですか」というものであったという。医師は、戸惑いを隠せないまま、「昔から、今日中にできることは、今日の内にしろというではないか」と取り直してみたが、強い立場で常識を押し付けようとした自分が、それを軽くはぐらかし返した彼女に敗北したと言っていました。最近では、こんなことが精神科の現場でも起こっているのかと、彼女の言動に静かに拍手を送ってしまう自分がいます。

